

セキュリティプラットフォーム 追加機能・改良機能一覧表 (Version 3.3.27)



2014年11月

セキュリティプラットフォームに追加された機能と、改善された機能についてご紹介いたします。

追加・改良点	製品名	詳細
アプリケーション対応	ベーシック evolution /SV ベーシック +AD evolution /SV 各オプション	<ul style="list-style-type: none"> Google Chrome 39安定版(39.0.2171.65)に対応しました。 Google Chrome 64bit版に対応しました。
機能改良	ファイルセーフカプセルオプション	<p>【未対応OS、未対応バージョンのアプリケーションでカプセルファイルの起動を禁止する機能追加】</p> <p>カプセルファイルを作成したセキュリティプラットフォームが対応していないOS、およびバージョンのアプリケーションで、カプセルファイルの起動を禁止する設定ができるようになりました。</p>
機能改良	ストレージエンクリプションオプション	<p>【ストレージ暗号化された領域を信頼領域にする機能追加】</p> <p>ストレージ暗号化された領域をevolution/SV機能において信頼領域として扱える設定ができるようになりました。</p>
機能改良	SePサービス強制停止・再開ツール	<p>【起動条件設定ツール追加】</p> <p>起動条件設定ツールはSePサービス強制停止・再開ツールにパスワード、および使用期間を設定するためのツールです。</p>

*セキュリティプラットフォームの著作権その他一切の知的財産権はハミングヘッドズ株式会社に帰属します。
 *ハミングヘッドズセキュリティプラットフォームは、ハミングヘッドズ社の登録商標です。
 *Windows は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標、及び商標です。
 *その他のブランド名や製品名もそれぞれの所有者の商標または登録商標です。
 *本製品の仕様については、事前の予告なしに変更することがあります。
 *本書の内容の一部・または全ての無断複写・転用・転載等は、特定の場合を除き、ハミングヘッドズ社の著作権の侵害になります。
 *このレポートは2014年11月現在のものです。

Humming HEADS®

〒104-0052 東京都中央区月島1-2-13
電話：03-3531-7281 FAX：03-5547-0577